

平成25年生駒市教育委員会第3回臨時会会議録

1 日 時 平成25年7月8日(月) 午前9時～午後0時50分

2 場 所 (1) サンヨースポーツセンター
(2) 生駒北小学校 多目的室
(3) 市役所 特別会議室

3 出席委員

委員長	中井公人	委員(委員長職務代理者)	村田浩子
委員	平本重次	教育長	早川英雄

4 事務局職員出席者

教育総務部長	峯島 妙	生涯学習部長	川口 忠良
教育総務課長	真銅 宏	教育指導課長	伊東 英治
スポーツ振興課長	中田 和也	教育総務課課長補佐	藤本 清夫

5 生駒北小中学校、高山幼稚園出席者

生駒北小学校長	十文字 良明	生駒北中学校長	本田 善藤
生駒北小学校教頭	山本 均	生駒北中学校教頭	上西 均
高山幼稚園園長	山本 裕子	高山幼稚園主任教諭	城野 奈穂美

(1) サンヨースポーツセンター視察

午前9時00分 市役所正面玄関出発

午前9時40分 サンヨースポーツセンター着

サンヨースポーツセンター職員の案内により会議室、宿泊施設、
グラウンド、体育館等視察



午前10時15分 視察終了。生駒北小学校へ出発。

(2) 生駒北小中学校、高山幼稚園と懇談

午前10時30分 開始

○中井委員長：先生方、地域の方の意見を聞かせてもらいながら色々検討いただき
ありがたいと思っている。先生方の思いも様々あるかと思いますが、忌憚ない

意見をいただき我々にできることについては受け止めさせていただきたい。

○十文字校長：小中一貫の話を初めて聞いたときは、経験がなく不安であったが、子どもたちにとってよいことならばやってみようと思っている。奈良県でも有数の魅力ある学校をつくっていききたい。

○本田校長：小中一貫になることで最初は仕事が増えるかもしれないが、プラスの面が非常に多いと思うので、そこを生かして地域に還していけたらと考えている。

○山本教頭：小中一貫校ができれば施設も刷新されるのでうれしい。やるからには良い学校にしたい。懇話会で地域の方などに市教委が丁寧に説明し、ゆっくりではあるが進んでいる印象である。

○上西教頭：小学校のきめ細やかな授業を中学校の先生に知ってもらい、中学校の専門的な教科の授業を小学校で受けられるなどすばらしいことだと思う。懇話会はまだ続けているが自分の中ではどんどんイメージが膨らんできている。早く実現できたら素晴らしいことだと考えている。

○中井委員長：積極的に市の考えを受け止めていただき、現場で先生方とお話しいただき良い方向へ向けて指導していただいていると受けとった。その他、悩み、思い、あり方等あれば聞かせてほしい。

○十文字校長：市で、説明会など何度もしてもらっているが、なかなか公の場では発言しにくい人もいるので育友会では「iどばた会議」という場を設け、できるだけ多くの人の意見を出し合ってもらっている。その中で疑問もでてくるけれどもそれを解決していくことは大事だと思う。

○峯島部長：懇話会は、地域と保護者に逆に引っ張られているような形で10月をめどに結論を出していくような方向でまとまってきている。「生駒北小中一貫教育

のイメージ」を出させてもらったが、本田校長どうか？

○本田校長：小学校とすり合わせを行い、共に教育課程などのイメージを共有しておく必要がある。保護者の方もこのイメージができてやっとうこういうこともできるかというのが見えてきた。

○村田委員：懇話会だよりや教育委員会の報告で流れはだいたい聞かせていただいているが、今回、管理職の先生方が前向きに考えてくれているので安心した。新しいことを始めるとき抵抗はある。子どもの数の減少で集団行動することが難しくなることや、子どもの学力の向上など小中一貫をすることで解決できることはある。この地域の学校は地域との連携がとても密であるなど、良いところは引き継いで行ってほしい。子どもたちが豊かな生活をする、学力を向上させること、教育課程を考えることなどしっかりと充実させていくと誇れるものになるのではないかと思う。

○平本委員：私の教育の振り出しは北中であった。そのとき、北中は、子どもは純粋であり、また、地域が学校に対して協力的であるということを感じた。当時から少人数であるので競争する力が弱く、人間関係が固定化しているという印象である。北小、北中の子どもたちをどう高めていったらいいのか討議を今の現場の先生の中で繰り広げていてもらいたい。魅力はいっぱいある。いろんな取り組みもできるが、落ち着いて学習ができるための子どもたちの環境を整えてもらいたい。

○中井委員長：現場の先生方、地域の声を十分聞く機会をもってそれをふまえて対応するよう進めてもらっていると思う。足を運んで耳を傾け、先生方や地域の方の想いがここに集約されているのであればありがたい。まだ足りないことがあるならば、10月をめぐり期間はまだあるので十分反映するようにしてほしい。今後より良いものにしていくには何が必要かを考え共に良いものをつくっていききたい。

○山本園長：こども園について2月7日に保護者に説明した。預かり保育が増加しており、働く親が増えている傾向にあり、それらの親はこども園になるのはうれしいという意見を聞いている。また、地域があつての幼稚園なので、幼稚園と保育所が一つになることに対してそれぞれが説明していかなければならない。保育園の先生が高山幼稚園で研究会に参加し様々な意見を出し合いお互い良い勉強になった。

○村田委員：公立と私立、幼稚園と保育園というように違うものがいっしょにやっ
ていくのでハードルも高い。先生同士がお互い何をしているのかを知って、子どもにとって何がよいのかという視点で色々考えていただいていると思う。

城野先生は1年間保育所に（研修に）行っておられたということだが、そのことについてぜひお話をお聞きしたい。

○城野主任：昨年1年間保育所に研修に行ったが、行く前は、幼稚園と保育所では、教育内容もそれほど変わらないだろうと思っていた。実際は、幼稚園と保育所では違うところがたくさんあった。保育所では長時間いるからこそ配慮されていることなどたくさん学ぶことができた。北倭保育園と交流をはじめているが、幼稚園の先生と保育士と感覚的に同じところもあるが違うところもある、そこを埋めていかないといけない。

○中井委員長：保育園との話し合いの時間を十分にとっていただき先生方同士の理解も深めていただきたい。幼保交流ということで、子どもや保護者の交流の機会をもつていただいたらよいのではないか。交流をより一層進めながら今後の展望



を開いて行ってほしい。

高山地区の保育園、幼稚園、小学校、中学校の総合的な10数年の教育の取り組みの中から、日本の未来を背負うような子どもたちを育成してほしい。

午前 11 時 30 分終了

市役所へ出発

(3) 市長との懇談

市長 サンヨースポーツセンターの購入については、北大和体育施設とサンヨースポーツセンターとの機能重複、また、財源捻出に鑑み、北大和体育施設の移転・拡充を図りたいと考えている。

なお、現在、避難所となっている北大和体育館は残し、その他の北大和体育施設を売却し、その跡地を住宅地等による固定資産税と、不要となる指定管理料を、サンヨースポーツセンターの購入費、改修費及び維持管理費に充てようと考えている。

なお、現在、北大和体育施設で利用されているスポーツ少年団のサッカーや野球の活動については、利用者の利便性を考えた配慮も検討したいので、ご理解賜りたい。

終了